



蛍雪会報

茨城県立境高等学校同窓会会報

第 7 号

令和3年8月1日発行

(年1回発行)

発行所

茨城県立境高等学校

蛍雪会

茨城県猿島郡境町175

TEL 0280 (87) 0123

「ご挨拶」

同窓会会長 酒井義博



蛍雪会会員の皆様には、平素よりいろいろご支援・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、世の中のあらゆる事業・活動が制約を受け停滞を余儀なくされる一年となってしまいました。

私たち境高校同窓会の活動も、例にもれず、従来通りにいかなかったのは残念ながら致し方なかったといえましょう。

中でも、同窓会員の皆様との重要な接点となります総会が中止となつてしまったことは、会の歴史上初めてのことと思われまじし、出席を楽しみにして来られた第31回生(全日制)・32回生(定時制)の招待学年の方々にとつては残念極まりない結果になりました。

そして、今年の総会も8月1日(日)に予定しておりましたが、中止となります。招待学年の第32回生(全日制)・33回生(定時制)の方々、ご了承をお願いします。やがて、この状況が変わって独自に同期会を

催すような場合には、同窓会としてもご協力いたしますので、ご連絡いただければと思います。

また、総会における本年度の議案につきましても、この会報の事業報告・会計報告をもって議案提出に替え、本年度も役員並びに事務局にて、本会業務及び調整を進めてまいりますことをご了承下さいますようお願い申し上げます。

同窓会の活動としては、先生方の歓送迎会や学校行事としての入学式、卒業式などへの直接的な参加が無くなり、部活動奨励金の贈呈の機会も減少し、職員の方々や在校生との接触が希薄になった一年でした。

定例の本部役員会が2回(7月議案の検討、10月奨学生選考)、臨時の本部役員会が1回(9月総会中止決定)、蛍雪会報発行のための編集委員会を3回、そして、2月末の卒業生の同窓会入会式を行ったことが実質的な活動でした。

その話し合いの中で、これまでに寄付をいただいた方のお名前を目に付くところに掲示して残そうという案が出され、蛍雪学習館の玄関に、寄付の内容と寄付者名を記した札を下げることにしました。

また、生徒の部活動の中では、野球部が令和2年度第93回選抜高等学校野球大会の「21世紀枠」茨城県代

表として選出されました。「21世紀枠」とは、「高校野球の模範的な姿を實踐している学校を選ぶ」という理念から設けられた制度で、単に野球の実力が認められただけでなく、「学業と部活動の両立」という野球部員の、ひいては境高生の文武両道の生活態度が高く評価されたものと私は理解します。

蛍雪会報については、8月1日に第7号が発行されます。同窓会活動が制限される中、総会の盛会の様子などの報告が来ず、また、同期会やクラス会もほとんどなくそのような記事で紙面を埋められないのは寂しい限りですが、その代わりに、多くの卒業生に高校時代の思い出を綴っていただき掲載しました。これからも、卒業生の思い出を沢山書いていただき掲載していこうという方針を確認していますのでご期待ください。

また、会報の発行費用については、皆様からの賛助金で賄っておりますが、昨年度も不足が生じ、同窓会費から補填しました。出来るだけ、賛助金で賄えますよう、発送先などについて今回も工夫しました。皆様にも一層のご協力をお願いいたします。(詳しくは12ページをご覧ください。)

「ご挨拶」



学校長 池田 聡

同窓会長の酒井義博様はじめ、本部役員・支部長の皆様方、そして同窓会員の皆様には、本校の教育活動に日頃よりご支援・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。今年度より境高校に赴任して参りました、校長の池田聡でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、この境高校は今年で創立93年を迎える伝統のある進学校です。生徒たちはそれぞれの進路実現に向けて日々努力を重ねており、教職員も一体となって熱心に指導しています。令和3年度入試では、国公立大学に7名が合格しました(筑波大学、埼玉大学、群馬大学、茨城大学、山形大学、県立医療大学2名)。私立大学には延べ183名が合格をいただいています(中央大学、法政大学、日本大学、東洋大学、神奈川大学など)。コロナ禍の状況においても、進路目標をしっかりと掲げてコツコツと努力を続けてきた成果です。特に、昨年度は茨城県の県立高校も一斉に臨時休校措置となり、大部分の教育活動が停止してしまいう事態に陥りました。そのような中でも、本校はICTを利用した動画授業配信や

インターネットアプリを使つての個別学習指導を行い、生徒・教職員が一体となつて難局を乗り越えました。まさに、伝統ある境高校の底力が発揮された時期であつたと思ひます。

また部活動も盛んで、境高校の「文武不岐」の精神を脈々と受け継いでおります。昨年度は、野球部が第93回選抜高校野球大会の「21世紀枠」県推薦校に選出されました。残念ながら関東地区の選考では漏れてしまいましたが、学校全体が大いに活気づいたの言うまでもありません。部活動全体では、新型コロナウイルスやコンクールが中止となり、部員たちにとつては悔しい1年となつてしまいました。しかし、実績や結果を残すことだけが部活動の目的ではありません。日頃の鍛錬や努力の成果を「自分磨き」につなげて、人間的に一回りも二回りも大きく成長していくことこそが部活動の本分であり、境高生はこれらを糧にして、これからの人生を切り拓いてくれることと信じています。まだまだ新型コロナウイルスの猛威は衰えませんが、今年度はサッカー部が、2021年度関東高校サッカー大会茨城県予選会において、全て1点差のゲームに競り勝ち、ベスト8入りを果たすなど活躍しています。3年生にとつて最後の大会がまもなく始まりますが、各部活動とも悔いを残さず有終の美

を飾れることを願っています。

さらに、地域住民の方々から信頼され、大きな期待をうけている本校は、地域貢献・地域連携にも力を入れていきます。境町のボランティアグループ「境町高校生会 (COVER)」に入会し積極的に活動する生徒も多く、一昨年度は町職員と連携して利根川大花火大会のPR動画を作成し、渋谷サンルイビルの壁面大型ビジョンで放映するなどの活躍をしました。今後、学校生活・教育活動を一層充実させて、生徒たちが境高校で学ぶことに誇りと自信を持ち、将来地域社会で活躍できるように、そしてさらなる良き伝統を積み重ねることができるよう、微力ではありますが力を尽くして参る所存です。今後とも同窓会の皆様のご支援をお願い申し上げます。

令和2年度同窓会総会懇親会報告

40年続く同窓会総会・懇親会が中止
令和3年度も昨年度同様に中止が決定

境高校同窓会(蛭雪会)では、昭和55年から毎年8月の第1日曜日に、その年に還暦を迎えられる同窓生の方々を招待、総会そして懇親会を開催しています。

昨年度は31回生(全日制)・32回生(定時制)の方々を招待させていただきました。令和2年8月2日(日)境町ベルさかいにおいて開催を予定しておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症が拡大したため、令和2年11月22日(日)に開催を延期し計画して参りました。その後も新型コロナウイルス感染症が収束せず、同窓会本部役員会で検討した結果、残念ではありますが中止と致しました。

また、残念ではありますが、今年度の32回生(全日制)・33回生(定時制)の方々も同様に総会・懇親会の中止が本部役員会で決定致しました。

令和2年度 部活動大会等の主な成績

境高校は、文武不岐を目指す伝統ある学校です。文字通り勉強だけでなくたくさんの生徒が部活動に励んでいます。運動部・文化部がそれぞれ全国大会をはじめ、関東大会、コンクール出場など毎年華々しい活躍をしています。

昨年度はコロナ禍のため、ほとんどの部活動で全国大会や関東大会が中止になり、例年通りの大会は開催されませんでした。そんな中、運動部では陸上競技部男子棒高跳で県大会1位、剣道部男子団体で県大会3位、野球部で県大会ベスト8となり選抜高校野球大会21世紀枠茨城県代表に選出されました。
文化部では、全日本中学・高校生管打楽器ソロコンテストに出場するなど輝かしい成績を収めました。



野球部



弓道部



陸上競技部

【陸上競技部】

茨城県高等学校夏季陸上競技大会 男子棒高跳 倉持歩希 1位・西川拓翔 6位
女子やり投 小林千華 8位
茨城県高等学校陸上競技新人大会 男子棒高跳 西川拓翔 4位

【野球部】

夏季茨城県高等学校野球大会 2回戦
秋季関東地区高等学校野球茨城県大会 ベスト8
選抜高校野球大会21世紀枠茨城県代表選出

【サッカー部】

全国高校サッカー選手権大会茨城県大会 4回戦

【剣道部】

茨城県高等学校剣道大会 男子団体 第3位
茨城県高等学校剣道勝ち抜き大会 男子II部 2回戦
全国選抜県予選 男子団体 3回戦 ベスト16

【弓道部】

茨城県高等学校弓道新人大会兼全国高等学校弓道選抜大会茨城県予選会
男子団体 予選敗退・女子団体 予選敗退

【男子バスケット部】

茨城県高等学校夏季バスケットボール大会県西地区予選 2回戦
関東高等学校バスケットボール新人大会茨城県西地区予選会 2回戦

【女子バスケット部】

茨城県高等学校夏季バスケットボール大会県西地区予選 1回戦
関東高等学校バスケットボール新人大会茨城県西地区予選会 1回戦

【硬式テニス部】

春季県西地区大会 女子シングルス ベスト16
3年生引退「水郷フェスティバル」 男子団体 準優勝
女子団体 第3位
夏季県西地区大会 女子シングルス ベスト16
新人大会地区予選 男子ダブルス ベスト16
女子シングルス・ダブルス ベスト16

【ソフトテニス部】

茨城県ソフトテニス新人大会県予選 男子団体 ベスト16・男子個人 ベスト32

【男子バレー部】

茨城県高等学校男女バレーボール夏季大会 1回戦
全国高等学校男女バレーボール選手権大会県西地区予選会 第5位

【女子バレー部】

茨城県高等学校男女バレーボール夏季大会 1回戦
全国高等学校男女バレーボール選手権大会県西地区予選会 2回戦

吹奏楽部



剣道部



応援団リーダー部



卓球部



【茶道部】

校内発表会における発表

【文芸部】

校内発表会における発表

「陽光」(主にイラスト)
「虹」(主に小説・誌・エッセイ)の部誌の発行

【書道部】

茨城県高等学校総合文化祭書道展覧会 入選 木村真白

【英語部】

校内発表会における発表

【科学部】

校内発表会における発表

【美術部】

茨城県高等学校総合文化祭美術展覧会 入選 5名

【写真部】

校内発表会における発表

【演劇部】

校内発表会における発表

全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト 野村瑠星 出場

茨城県学校吹奏楽コンテスト B部門 銀賞

木管四重奏 銀賞

クラリネット四重奏 銀賞

茨城県アンサンブルコンテスト 打楽器八重奏 金賞

全国高等学校総合文化祭 2020こうち総文 (県高校選抜吹奏楽団2020として出場)

茨城県アンサンブルコンテスト クラリネット四重奏 銀賞

【応援団】

各部に対するエール・校歌

茨城県高等学校応援団連盟演技披露 「霊峰の下に」オンライン開催

【水泳部】

茨城県高校夏季水泳競技大会 男子50m自由形・100m自由形 出場

茨城県高校新人水泳競技大会 男子50m自由形 出場

茨城県高等学校空手道大会県西地区予選 男子個人組手 マイナス78kg 準優勝

茨城県高校卓球新人大会 男子団体 ベスト16・女子団体 1回戦 マイナス61kg 第3位

【卓球部】

全日本卓球選手権大会ジュニアの部茨城県予選会 男子シングルス ベスト32

茨城県高校卓球新人大会 男子団体 ベスト16・女子団体 1回戦

高校時代の思い出

中久喜金造(高6)



学校生活の頃の想い出を書いてくれと委員に依頼され、はたと困惑しました。80年も前の頃のこと、終戦後間もない頃で世の中はインフレ気味、いろいろな事の改革改革で何をして良いかわからない頃でした。新しく制定された学校教育法により、六三三四の新学制が発足し、新制中学新制高校と云う言葉が出た時代です。この学制の意味が良くわからなくて、旧制中学で卒業した人、新制高校へ進学した人、いろいろでしたが、私が国家公務員として就職した時に、旧制中学卒業と新制高校卒業では後者の方が上位に採用されているのがわかりました。サラリーマンになるつもりはなかったもので、大いに狼狽したものです。

道路交通状況は今とでは比較にならない、自転車か泥で動けなくなり、抱えるか担ぐ等、したもの。旧中と新高では採用条件に差があったので、旧中卒業の方が新高に入学される方もたくさんおりました。職場は幸にして実績主義を重んじる所でしたので、そちらの勉強に力が入っていました。事務官昇任試験にも合格し、事務官となり、また、高校も卒業させてもらいました。さらに競争心が出ましたので旧高財(高等財務講習所、後に税務講習所高等科)に、現在の税務大学校本科の入学試験に合格し、宛校の協力もあり卒業も出来ました。卒業後は国税査察官に任命され、関東信越国税局勤務となり勤務することが出来ました。高校の頃は苦労があったので、その後も頑張れることが出来たものだと思っています。

高校時代の思い出

飯塚 弘道(高12)



昭和32年4月、境高校に入学、当時は高校へ進学する社会情勢はまだ厳しい環境であり、殆どの人が中卒で就職という状況下でした。私は昭和35年12回生の卒業で社会は発展途上の最中でありました。高校生活はすべり込みで入学し、学業ははかないものでありましたが、唯一絵画を少しばかり描けるという事で美術部に所属し、しかし乍ら碌に描きもしない怠け者の部員でした。クラス担任が美術の今は亡き船橋棟太郎先生で、こんな私をかわいがって頂いた記憶があります。しかし私の絵は芸術性に乏しいと、商業画家の絵だなと批判されました。幼い頃から『絵描きでは飯は食べていけないぞ。』と言われこの程度では掃いて捨てる程の物と絵の思いは失せてしまいました。極める事のできない中途半端な人間だったのです。

高校生活はとても楽しく周りの級友にも恵まれ、沢山の思い出が実り自分の中では大切に大切な宝物と感じています。卒業して社会に出てからは人生の波に揉まれ苦難な事も経験しながら努力を惜しまず常に邁進して幸せを掴み、それが平凡であっても自分で築き上げた状況が生活を豊かにしてくれました。間もなく年齢80にならんとする今日この頃です。

人生の分かれ道

風見 幸雄(高12)



思えば境高に入学し、卒業し、就職し、自分の人生が始まったのは境高に入学した時からがターニングポイントだったのだなと思えます。幸せは自分で作るもの、私の人生は豊かで、幸せに満ちています。私の様な者を受け入れてくれた境高校、そして沢山の思い出を实らせてくれた学校の行事や級友の暖かい友情。感謝、感謝です。沢山の卒業生達が幸せで健康な人生を送れる様末文にてお祈り申し上げます。

境高校を卒業して62年、思い出といえど剣道と生徒会長を務めたことくらいかな。当時の生徒会長は前期と後期に分かれており、前期は当然の如く成績優秀だった人が選出されたが、後期の選出は何故か混乱した。各クラスから私も含めて計20名位の生徒が集まって生徒会長選出について長時間議論の末、そのいきさつは覚えてないが、何故か私が選任された。私が生徒会長として実行したことは2つ。1つは、体育祭を初めて生徒会主導で実施したこと。「生徒会主導でやらせて下さい」と学校に申し入れたような気がするが記憶は定かではない。各学年各クラスから数人ずつの実行委員会を組織、計画段階から最後まで生徒自身の力で実行した。2つ目は、父兄会費の値上げ。当時、多数のクラブ(部)の内、特に体育系は試合のための遠征費用等による経費の赤字が大きい部があった。そこで、生徒会役員にすべての部の財政状況の聞き取り調査を指示、その結果を生徒会顧問の先生を通して、父兄会費の値上げをしてその分だけ財政困窮の部に配分してくれるよう学校に依頼した結果、父兄会総会で承認された。卒業式の日に先生方に挨拶廻りをした際、張替勇先生から「お前は生徒会長と

して良くやった、凄い」と言われた時、自分でも生徒会長ができた、と嬉しかった。

高3の夏頃、ある先生の紹介で就職先が決定したがどんな会社なのか全く調査もせず、3月上旬に卒業と同時に就職先を訪問してビックリ。一生の仕事どころか1日も嫌だと感じた。まだ入学願書が間に合う学校をいくつか探して1週間で退職し、電気通信関係の学校への入学を決断した。

その結果、こどもの頃から憧れていた会社に就職でき、また、そこから当時の宇宙開発事業団に3年半ほど出向を希望し、放送衛星BS、気象衛星ひまわり、通信衛星などの打上げにも参加することも経験できた。お陰で今は女房とお琴の演奏、クルーズも5回ほど楽しむなど（今はコロナで無理）結果的に夢のような人生であり、高校卒業直後の決断が天国と地獄の分かれ道だった。

高校時代の思い出

菅谷 健二（高20）

私は仕事をしながらの高校生活でした。（定時制）夕方5時から夜の9時まで、疲れた

身体で授業を受けるのは大変な事でした。そのため多くの者が挫折しました。幸いに私は7名の良き学友に恵まれ、励まされ無事卒業する事ができました。授業は大変でしたが、その反面学友のお陰で、楽しい思い出をたくさん作事ができました。山登り、海水浴等々、その中で最も思い出の深い、長野県の白樺湖での思い出をつづります。

キャンプ場に着き、全員でテントを張りました。その後、夕飯を作るため、飯炊班とカレーを作る班を決めました。私はカレー班になりました。洗い物をするためN君と自炊場に行きました。洗い場からなにげなく、私達のテントを見ると、私達のテントの周りにはテントを張る人がいないのです。その事をN君に話すと、本当だおかしいなと言いました。すると洗い場に居合わせた、ご夫人にあなただは言葉遣いが荒く喧嘩している様だからよと言われました。その事を飯炊班に話しました。しばらくすると、私達のテントの近くに女子大生らしき2人組がテントを張り始めました。私達はこれ幸いと、全員でテント張りを手伝

いました。飯炊（飯盒飯）も一緒にしました。夕食も一緒にする事になり、私達のカレーを彼女達に、彼女達からはタマゴ焼と、ウインナー入りの野菜いためにいただきました。食事の話の中で彼女達はOLだった事が分かりました。私は先程洗い場で一緒になったご夫人に、近況報告しました。ニッコリ微笑みながら「うまくやりなよ」と言われしました。夕食後の洗い物は彼女達が済ませてくれました。9時になり翌日は、ボートに乗る事を約束し、それぞれのテントに入りました。次の日は9時からボートを借り、私達は前日の2班に、彼女達はそれぞれに乗りました。楽しいひと時は、瞬間間に過ぎました。そして別れ際に会社の電話番号を記入したメモをいただきました。その後の思い出は次号で。

野球部の思い出

木村 哲治（高19）



私が境高校に入学したのは、今から57年前の昭和39年、日本で初めてオリンピック大会が開催された年でした。昭和23年生まれの私は、第一次ベビーブーム時代で後に団塊の世代と言われるようになりました。

境高校への進学の間は、姉、兄3人が入学した事がきっかけになったように思います。私の3年間の高校生活は、正月、お盆、期末試験の時期を除いて、野球、野球に明け暮れた毎日でした。野球部に入学したきっかけは、家の近くで3才年上の人が野球をしていた事です。1年生の時は、基礎体力が余りなく、練習についていくのが精一杯で、1、2年生の頃は、疲れて授業中は居眠りをしていたこともあり、成績は下がってしまいました。

当時の野球部は、運動部の中でも特に厳しく、楽しく野球をするような余裕は無く、現代の高校生には、想像もつかない位で、日常でも上下関係、礼儀、言葉遣い等は特に厳しく、上級生と気兼ねなく会話をすることがない時代で、又今では当たり前ですが、

練習中に水分補給を取る事も出来ず、先輩に隠れて取っていました。又、部の予算が無かったのか現在ののような設備、道具もなく、知識も乏しく、ただ投げる、打つ、走る事の練習スタイルで行っていました。

入部1年目の頃は、練習後に全員が整列し2年生の説教があり、時には目から火花が出る程のビンタやトイレでしやがむ事が出来ない位の尻バツトを受けた事がありました。肩を壊してつらい時もあったが、苦しい練習に耐えたお陰で気力、体力は付いたように思います。3年間続けられたのは、やはり野球が好きなのが一番だと思います。

両親は農家の仕事忙しいのに手伝いもさせず、試合に行く時は、お金を渡してくれました。野球を続けさせてくれた事に感謝をしています。

高校時代の思い出

中田加奈子（高52）

境高校を卒業して20年余りが経ちました。高校を卒業後、県外の大学に進学、その後都内でシステムエンジニアとして働いていました。8年前に



夫の地元である境町に家を建てたことを機に、境町の住人となり、その後ご縁があります。境町役場では、高校時代の同級生が同僚にいたり、また高校時代の恩師でもある野村正昭先生と思いがけず再会することが出来ました。野村先生にお誘いいただいた歴史民俗資料館の運営ボランティア「下総さかい河岸の会」にも参加しており、今ではどつぷりと境町に深く関わっています。最近でも、町内のふとした場所で、高校時代の同級生に声を掛けられることが度々あり、高校時代からの人との繋がりというものを実感しています。

高校時代は写真部に所属していました。今はデジタルカメラが当たり前ですが、当時はフィルムカメラが主流でした。私が使用していた一眼レフのカメラは、今は亡き祖父が使用していたものを譲り受けたもので、私が産まれた時代と同じくらいに生産された古いものでしたが、ピカピカに磨き大切に使用していました。放課後は、部員たちと、部室の暗室でモノクロフィルムの現像、印画紙にプリントなどをしていました。思ったとおりに撮影やプリントが出来なかつたことも多かつたのですが、関東地区高等学校写真展に出品することができたのは、丁寧に指導していただいた顧問の先生や、一緒に活動していた部員がいたからこそだと思います。

高校生活は3年と短い期間ですが、その貴重な時間を一緒に過ごした人がいたからこそ、今の私があります。感謝の気持ちを胸に、境町に貢献

できるような日々の職務に励みたいと思います。

良き師 良き友との出会い

千葉 道子(高22)
(旧姓根本)



小さな頃からあまり勉強しない私は、高校生になっても変わらぬ生活でした。「高校時代の思い出」と言われて思い浮かんだのは、担任の猪瀬正巳先生と、今でも親しくしていただいている友だちのことです。

猪瀬先生には、3年間担任していただきました。学校を休んだ翌日、職員室に行き理由を述べると、「犬だつて夏は風邪ひかないっていうのにと」と、咳をしながら先生から言われた言葉に、私は心を傷めたことがあります。TVドラマの話で盛り上がった時に、最後だけ見て、中は勉強と言われたことも思い出しました。

私たちの学級は、仲が良く

楽しい思い出ばかりです。利根川の河原でフォークダンスもしました。男子35名、女子16名でしたので、男子が余つてしまいみなで笑い合つたことが思い出されます。卒業後も、クラス会等で言えば、その頃の気持ちに戻ります。今も、行動力のある友だちに支えていただく私です。

こんなことを思つた翌日、先生の訃報に接したのです。友だちと一緒に先生とお別れに参りますと、ご家族からの第一声は、「厳しかつたんでしょ」と。生徒を思い厳しくされたとのことでした。数年前にお会いした際、先生から「頑張っているな」と笑顔でいただいた言葉に嬉しくなつたことを思い出します。猪瀬先生のご冥福をお祈りいたします。

夢のような話し

(Jリーグ入りを目指して)

木村 学(高39)



皆さん、境トリニタスをご

存知ですか？茨城県の県西地区からJリーグ入りを目指す社会人サッカーチームの名前です。私はそこでクラブマネージャーとして仕事をしていきます。同じ茨城県内には、東に鹿島アントラーズ、中央に水戸ホーリーホックがあり、地域のシンボルチームとして住民に愛されています。地域に密着しサッカーが生活の一部として溶け込む日常を、ここ県西地区に実現したいと思ひました。現在チームが所属するカテゴリーは、プロサッカーリーグのJ1から数えて7番目の茨城県一部リーグになります。目標とするJリーグ入りは、あと4つ階段を登つたJ3というカテゴリーです。階段を一つひとつ上るためには、まずは当然ですが試合に勝ち続けてリーグ優勝をしなければなりませんし、運営組織の充実も絶対必要な要素になります。育成年代の指導が切れ目のない戦力補強につながり、広報活動や営業活動の充実がなければ地域の皆さんの継続した支援をいただくことは出来ません。そして何より大切なことは、Jリーグの理念である『地域に根ざ

したスポーツクラブ』を目指
すことです。身近にスポーツ
を楽しむ環境を整え、スポー
ツを通して世代を超えた触れ
合いの輪を広げる。そんな豊
かなスポーツ文化を育むこと
で、地域の皆さんに愛され応
援していただけるクラブにな
ることが重要です。「将来のJ
リーグ入りを目指す」とても
もなく困難な夢のような話し
ですが、想いに賛同し協賛し
ていただく方々、発足時から
共に歩んでいる仲間たち、壁
にぶつかつた時に背中を押し
てくれる旧友、クラブを応援
していただいているサポータ
ーや支援者の皆さま、そんな
方々に支えられ一歩ずつ先に
進んでいこうと思います。

境高校の部活動のチームメ
イトや先輩後輩、先生など、
今もたくさんの人たちと交流
があり、現在の活動が出来て
います。卒業してから34年に
渡る、多くの方々との出会い
に感謝すると共に、境高校同
窓会の益々のご発展をお祈り
申し上げます。



郷土境の歴史

さしま茶の発展と野村佐平治

境町歴史民俗資料館長 野村 正昭 (高26)



生垣をめぐらした民家が
残っています。

境町の伝統産業として
のさしま茶の栽培は、す
でに江戸時代の初めの頃
から行われていたことが
境町歴史民俗資料館に収
蔵されている古文書に記
載されています。

茨城県西部の猿島郡一
帯は、毎年、冬から春先
に「猿島の空風」と呼ば
れている強い北西の風が
吹きます。猿島郡地域で
は、こうした農業環境を
背景として畑の穀物や野
菜等の作物を守り、強風
による耕地の土壌侵食を
防ぐために、畑の畦畔の
境界として茶を植えるよ
うになりました。このよ
うに、さしま茶は、猿島
地方に生きる農民たちの
生活の知恵によって誕生
しています。なお、猿島
地方には今も茶や檜木で

江戸時代前期にあたる
万治元年(1658)の
関宿藩領下総国猿島郡若
林村の「指上申一札事」
や寛文13年(1673)
の「志鳥村茶改帳」には、
茶園の検地や茶銭(茶年
貢)の徴収について記載
されていることから、今
からおおよそ370年前に
は境町におけるさしま茶
の栽培が始まっています。
また、寛文13年(16
73)には、関宿藩主久
世広之が下総国猿島郡志
鳥村等外3か村、大歩村
(大歩村の村役人と内門

村・栗山村の村役人が立
ち会い)に茶検地を推進
し、しだいに茶園を増加
させております。

このように、猿島郡お
よび葛飾郡の領主である
関宿藩が猿島郡地域で茶
の栽培を推奨したのは、
茶銭(茶年貢)の収入が
米穀などに掛かる税より
多く課税できたことによ
ります。

猿島郡地域ならびに境
町で本格的にさしま茶が
生産されるようになった
のは、江戸時代後半の19
世紀中頃に輩出した山崎
村(現・猿島郡境町山崎)
の野村佐平治らを中心と
した製茶技術の指導者に
よって近郷の農民に製茶
の改良を奨励してからの
ことになりました。以降、
今日まで、さしま茶は猿
島郡地域の一大産業とし
て発展しています。

江戸時代後半のさしま
茶は、北関東市場を中心
に販売されていましたが、
江戸幕府が日米修好通商
条約(安政の五カ国条約)
を締結したことにもな
う開港で、物流が一変し、
幕府や藩が相次いで諸外
国との貿易を始め、海外
市場に注目した猿島郡辺
田村の茶顛中山元成翁の
指導によって、さしま茶
はいち早く海外に輸出さ
れ、「江戸ウーロン茶」
として海外市場に進出し
ていくことになりました。



猿島手もみ茶製法に使われた焙炉、茶蒸釜などの製茶用具

令和2年度卒業生

進路状況

令和2年度卒業生の進路状況は、大学進学が約59%、短期大学が約3%、専門学校進学が約29%、公務員・民間企業への就職が約5%、進学準備を含めたその他が約3%という結果でした。卒業生のうちの約91%が上級学校に進学したことになり、進学への意識の高さが感じられます。

大学入試の状況を見てみると、合格者数は減少していますが、平成29年度から本校が学級減になっていることや、ここ数年の大学側による入学定員の遵守などが主な要因と思われる。そのような状況と新型コロナウイルスの影響で学習環境に制限のある中、今年度は国公立大学では難関といわれる筑波大学や、茨城大学・埼玉大学・群馬大学・山形大学、私立大学では、難関といわれる中央大学・法政大学に合格者がありました。また、獨協大学・文教大学・芝浦工業大学・東京電機大学・東洋大学・日本大学にも多くの合格者があり、本校生からの人気の高さを示しました。こうした大学進学者の中では、理系の学部に進学した生徒の割合が約半分を占めており、境高校の特徴とも言えます。

専門学校では多種多様な分野に進学していますが、特に看護医療の道へ進む生徒が毎年多くおり、このような道を目指す生徒たちは、在学中に看護体験やボランティア

活動などにも積極的に参加しています。いずれにしても、専門学校進学者はしっかりと自分の将来設計をもとにした学校選択が必要です。

就職は、最近の求人増加もあって多くの生徒が地元企業に就職しました。いずれは、企業・地域のリーダーとして活躍してほしいものです。ただ、どのような状況でも企業の求める人材像は変わりませんので、時事問題を含めた一般常識を理解していること・高校時代に打ち込んだものがあること・欠席が少ないことなどは必須条件であるようです。

大学入試改革が始まり、経済状況の変化など高校生にとって不安な日々が続きますが、生徒の学力向上を図り学習環境を整えて、職員一丸となり、生徒の進路実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

最後になりましたが、同窓会の援助により、今年も本校舎に大学合格に関する垂れ幕を設置させていただきました。生徒の意欲の向上や地域への広報活動に大いに役立っておりますことを、この場をお借りしまして、お礼申し上げます。今後とも引き続き本校の進路指導部にお力をお貸しいただきますよう、どうぞよろしく願います。

令和3年度入試 主な合格大学 (延べ人数、過年度卒業生を含む)

国公立大学 (合計7名)

- 筑波大学……………1
- 茨城大学……………1
- 埼玉大学……………1
- 群馬大学……………1
- 山形大学……………1
- 茨城県立医療大学…2

私立大学 (合計183名)

- 中央大学……………1
- 法政大学……………2
- 獨協大学……………5
- 文教大学……………10
- 芝浦工業大学……4
- 東京電機大学……6
- 東洋大学……………8
- 日本大学……………9
- 大東文化大学……5
- 東京都市大学……1
- 目白大学……………2
- 昭和女子大学……2
- 帝京大学……………6
- 東海大学……………6
- 千葉工業大学……5
- 国士舘大学………5
- 順天堂大学………2
- 拓殖大学……………2
- 神田外語大学………2
- 獨協医科大学………1
- 白鷗大学……………6

過去5年間の大学合格者数 (延べ人数、過年度卒業生を含む)

入試年度	国公立大学	私立大学
令和3年度入試	7	183
令和2年度入試	6	195
平成31年度入試	9	224
平成30年度入試	7	223
平成29年度入試	18	317



賛助金協力者芳名

7月1日現在 ()内旧姓

Table listing names, birth years, and amounts. Columns include Name (氏名), Birth Year (卒年), Amount (金額), and Name (氏名). Rows are organized by amount, with 10000 yen at the top and 500 yen at the bottom.

Table listing members and their addresses, organized in columns with names and postal codes.

賛助金の報告とお願い

会報発行の費用(賛助金) 今回(第7号)からは、発行と同時に、境高のホームページにも掲載しますので、上記の発送の対象外の方はホームページをご覧ください。

郵便振替だけに戻します。 昨年は、コンビニエンスストアからの入金もできるようにしましたが、今回からまた郵便振替だけに戻します。 多くの皆様のご協力をお願いいたします。なお、複数口のご協力をいただければさらにありがたいと思います。 第7号の発送の対象は、以下の通りとします。 1、現・旧職員。 2、還暦(満60歳)を過ぎた学年 3、これまで一度でも、賛助金をお送りくださった方。

Table showing financial data: 賛助金の収支. Includes rows for 収入 (976,000), 収入合計 (1,568,330), 支出 (1,057,188), and 支出合計 (1,469,028).

上記: 200,698 円不足し、同窓会会計より補填しました。

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない状態にありながら、東京オリンピックがパラリンピックはほとんどが無観客で開催されています。一体誰のためのイベントなのか?という疑問を持つ一方で、医療関係や規制される商売で懸命に奮闘している方々や、観戦チケットを見つめてやるせない思いをしている同窓会会員の方もいらっしゃると思います。 これから何年か過ぎて、あの時の思い出としてこの紙面で微笑みあえる日が早く来ることを祈りしています。

編集委員 木村泰之